

野生鳥獣による農林産物被害の状況（令和3年度 速報値）

（経済産業部農業局、森林・林業局）

1 農林産物の被害の概要

令和3年度の野生鳥獣による農林産物の被害額は250百万円である。ピーク時（平成21年度）の約36%まで減少し、前年度比81%となった。

表1 年度別の農林産物への被害額 (単位：百万円)

年度	H21	H28	H29	H30	R元	R2	R3	H21比
被害額	696	419	326	318	305	309	250	36%

(注) 農作物：農林水産省「全国の野生鳥獣による農作物の被害状況について」に基づき県集計
 特用林産物：県調べ

2 鳥獣種別の被害額

獣種別の被害額はイノシシが最も多く、令和3年度は9,000万円被害総額の36%を占めるが、減少傾向にある。次に被害額の多いニホンジカは、令和3年度は前年度より被害が減り、7,700万円となった。

県全体の鳥獣被害額は、減少しているが獣種によっては減少幅が緩やかになっている。また獣種別の被害推移などの状況が地域によって異なることから、地域特性に応じたより細やかな対策強化が必要となっている。

表2 鳥獣種別の被害額 (単位：百万円)

年度	H21	H28	H29	H30	R元	R2	R3	H21比(%)
イノシシ	339	174	137	136	141	132	90	27
ニホンジカ	165	126	77	69	69	80	77	47
サル	116	30	31	31	27	30	20	17
その他	76	89	82	82	68	67	62	82
合計	696	419	326	318	305	309	250	36

※四捨五入をしているため、合計値が一致しない。

(百万円)

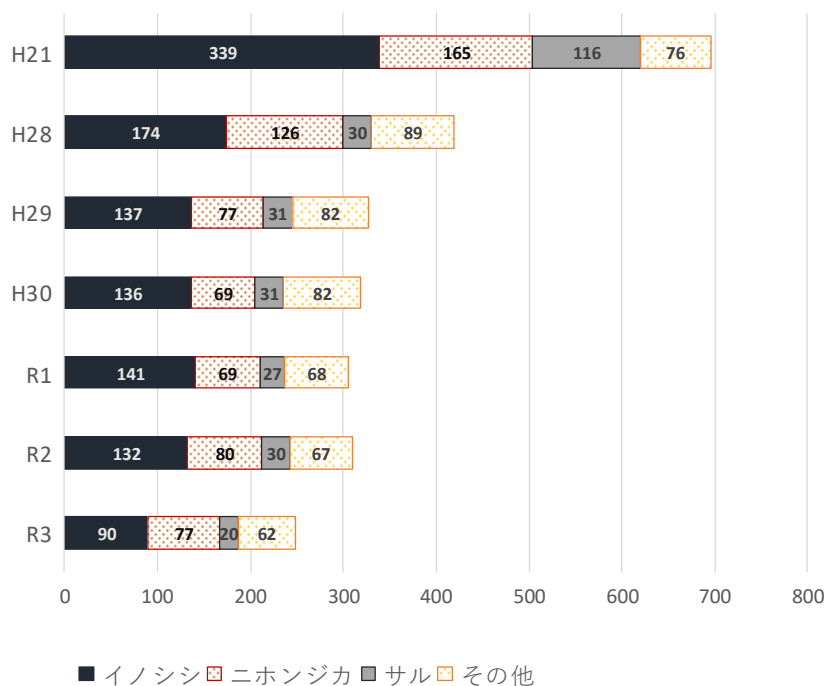


図1 鳥獣種別の被害額の推移